

いたくら 議会だより

今月の 主な内容

- ◆6月議会可決議案 2 P
- ◆一般質問 4 P
- ◆議会改革活動など 9 P
- ◆議長室エッセイ 9 P
- ◆町政へ一言 10 P

2012 8 / 1

第122号



地域防災力を支える板倉消防団
7/1(日)ポンプ操法大会開催

第2回6月定例会が開かれ

補正予算など可決

一般質問に5人の議員が登壇



平成24年板倉町議会第2回定例会が、6月6日から14日まで9日間の会期で開かれました。今回の定例会では、報告、補正予算など3議案と専決処分手項について審議し、いずれも全会一致で可決しました。2日目の一般質問には5名の議員が登壇して、次期町長選への出馬の意向、通学路の交通安全対策、ラムサール条約湿地登録関連及び板倉ニュータウン企業・商業施設誘致などの町政各方面に亘った質問を行いました。最終日には、陳情2件の採決、議員派遣の件を決定して会期を閉じました。

報告議案

■平成23年度板倉町一般会計繰越明許費繰越の報告について

農業体質強化基盤整備促進事業を含む3事業で、翌年度へ繰越額の総額は4,270万円になります。

■平成23年度板倉町水道事業会計予算繰越額の使用に関する計画の報告について

群馬県東部農業事務所発注の水路改修工事工期延長にあわせた、他事業関連の水道管移設工事3路線に関するものです。

■平成23年度板倉町土地開発

公社決算及び事業報告について

■平成24年度板倉町土地開発公社予算及び事業計画について

決算及び予算ともに、主要事業としては、板倉ゴルフ場関係の用地調整業務です。

専決処分

■専決処分手項の承認について（板倉町税条例の一部改正）

地方税法及び国有資産等所在市町村交付金法の一部を改正する法律等の施行に伴い、板倉町税条例を改正するもの。

■専決処分手項の承認について（板倉町国民健康保険税率



例の一部改正
 地方税法の一部を改正する法律の施行に伴い、板倉町国民健康保険税条例を改正するものです。

■専決処分事項の承認について（平成24年度板倉町一般会計補正予算（第1号））

板倉東洋大前駅付近において不審者などの目撃情報が発生しており、犯罪防止



のため警察から早急に防犯対策を実施してもらいたい旨の要望により、駅構内に2台の防犯カメラが設置されました。

■専決処分事項の承認について（平成24年度板倉町一般会計補正予算（第2号））

子どものための手当から児童手当に名称が変更され、また、それにあわせてシステム改修委託料が追加されました。

可決議案

■住民基本台帳法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

外国人住民の利便の推進及び市町村等の行政の合理化を目的として、住民基本台帳法の一部を改正する法律が公布されたため、それに関係する条例を改正するものです。

■平成24年度板倉町一般会計補正予算（第3号）について

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ902万7千円を追加し、予算総額を5億5,070万2千円としました。

■群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について

外国人登録法の廃止に伴い、群馬県後期高齢者医療広域連合規約を変更する必要があるため、同広域連合規約を変更するものです。

陳情

◆町道3070号線道路路幅

整備についての陳情者 第20行政区

区長 根岸光市

結果 採択

（要旨）陳情路線は、隣接する土地所有者がブロック塀などの構造物をセットバックし

て築造しており、要望の4mの幅員はすでに確保できている状況であることから全員一致で採択されました。

◆国土交通省地方整備局の事務所・出張所の存続を求める陳情

陳情者 国土交通労働組合関東建設支部群馬県協議会 議長 黒澤教吉
 結果 趣旨採択

（要旨）行財政改革が行われている中で、国家公務員の職場の自己防衛的な面も見られる。また政府の方針も具体的に見えてこない状況であるが、二大河川に囲まれた板倉町の水災害を考えたときに、迅速に対応できるのはやはり国の機関であり、細かな管理をお願いすべきであるため、願意の趣旨を妥当と認め、趣旨採択とされました。



▲委員会で陳情路線の状況確認

一般質問

日 目 2日
月 日 7月
議 会

① 小森谷幸雄 議員

町長の選挙公約達成状況と4年間の感想は 次期町長選への出馬の意向は？



就任して4年間の実績、公約の具体的な取り組みは

問・町長就任以来4年目を迎えている。その間の感想と公約の達成状況について聞きたい。

答・町長 町民生活の向上を実現すべく課題に対し真摯に取り組み充実した4年であった。また公約の達成状況については9割、町内的な課題はほぼ実現したと感じている。一方、合併、企業・商業施設誘致など町外との交渉事業は一步一步の前進と認識している。

問・開かれた町政、町民主役の行政推進について聞きたい。

答・町長 「決断と実行力、町民との対話、公正公平、

町の利益第一」の4つの姿勢で臨んだ。具体的には住民懇談会の開催、事業仕分けの実施、事務事業評価制度の導入、わかりやすい予算書の発行等で町民に理解を得られる行政を目指した。

問・町民サービスの充実を目指してグループ制から課制に変更し組織力強化を目指したがその評価は。

答・町長 公約実現のために職員一人ひとりの意識改革を行う意味で組織を変えた。町民目線でみれば十分対応できているとは言えないと感じている。

問・公約の具体的な取り組み

事例を聞きたい。

答・町長 他町並みの整備を目指してハード事業にも積極的に取り組んだ。生活基盤を支える町道整備

八間樋橋、国道354号線延伸、小学校の耐震化、中学校体育館の全面改修、武道館の改修、弓道場建設、中央公園南面整備、児童館の開設等である。その他広域事業として厚生病院改修、ごみ処理場建設等推進している。

問・財政状況の推移について聞きたい。

答・企画財政課長 町長就任時と現在を比較すると、主要な財政指標「財政力指数、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率」はすべて好転をしている。また積立金残高は2億4,000万円増

の33億5,700万円、7・8%の増加、地方債残高は8億7,600万円、円減の40億2,300万円、18%の減少となり財務体質は強化されている。

問・広域行政・町内における将来的な課題についての考えは。

答・町長 厚生病院は27年12月、ごみ処理場は28年に完成。病院については医師不足の問題、ごみ処理については出し方の問題等があるが広域行政の中で改善を目指す。合併、企業・商業施設の誘致、農工商の活性化の課題は抜本的な解決策が見いだせない状況が続いているが鋭意努力する。また公共施設の老朽化の問題、少子高齢化を迎え福祉・教育の分野でも課題がありその対応を計画的に推進する。

「想定外」は死語
通学路の安全対策を

問・通学路の安全対策は、十分に検討されているのか。「想定外」は死語。自

助、共助、公助の役割の中で当町独自の通学路の安全対策を推進すべきと考えるが。

答・教育委員会事務局長 基本的には各学校単位で年度初めに点検を行っている。今後、教育委員会として、学校、PTA、地域と連携を図り、より安全な通学路を設定し児童・生徒の安全を確保する。

答・教育長 通学路の安全対策については取り組みが十分とは言えない。今後の安全対策については、各学校ごとに問題点を整理し、関係部署の意見も取り入れ、地域特性を考慮し総合的な面から対策を行い、安全な通学路の選定したい。

4年間の実績を踏まえ
次期町長選への出馬の意向は

問・次期町長選への出馬の意向は。

答・町長 当町では、課題が

一般質問

議会 2日(月)
6月7日(火)

② 秋山 豊子 議員

通学路での惨事を防ぐ安全対策は

大地震や竜巻に備え、飛散防止フィルムを



通学路の安全対策は

問・通学路の安全確認調査を実施して危険箇所を改善や盲点はないか点検し、より一層安全対策に取り組むべきではないか。

答・教育委員会事務局長 全国で相次ぐ通学路での交通事故を受け、小学校、中学校、PTA、教育委員会、行政安全係、建設係が一体となり、過日各学校の通学路の点検を実施した。

問・各学校の通学路を安全確認調査の結果、早急に危険箇所の改善に取り組むべき所、また盲点はあるのか。

答・教育委員会事務局長 具体的には、5月24日東小学校、30日西小学校と中学校、6月4日南小学校と北小学校で点検を行った。特に危険場所では実際に関係者が道路を歩き安全点検を行った。今後結果をもとに関係機関で児童生徒に注意を促し緊急性を要する場所は改善を図っていく。

問・関係団体や警察と協力して無免許運転、居眠り運転、スピードの出し過ぎなど、ドライバーの安全意識啓発広報活動をさらに強化するべきでは。

答・総務課長 町では春夏秋冬の期間を設けて交通安全運動を展開しているが現実的には事故も続いて

しまう状況にある。引き続き、関係機関と協力していきたい。また職員も朝夕の時間に立哨活動を行っている。さらに啓発にも努めていきたい。

問・子ども達を交通事故や犯罪から守る取り組みの一つとして、子ども達一人ひとりが自分の安全マップを作っては。

答・教育長 与えられたものではなく自分たちで作ることが大事と思っている。特に、下校指導の中で認識させ、危険箇所を地図上に書き込み安全教育の一つとして考えていきたい。

保育園や児童館の窓ガラスに飛散防止フィルムを

問・大地震や竜巻などに備

え、保育園や児童館のガラス窓に飛散防止フィルムを貼り、子ども達の安全を図るべきでは。

答・福祉課長 昨年、発生した東日本大震災など自然災害の猛威は計り知れない状況となっている。大切なお子さんを預かっている保育園や児童館の安全対策は急務と考えている。窓ガラスへの飛散防止フィルムの施工は確かに効果が高いものと認識しているので検討していきたい。

成人用肺炎球菌に公費助成を

問・成人用肺炎球菌ワクチンの接種は現在任意接種である。1回の接種に8,000円の費用がかかるので、年齢を定めて一部公費助成し肺炎の発症を抑えていくべきでは。

答・健康介護課長 成人用肺炎球菌ワクチンは肺炎の予防並びに肺炎にかかっても軽症ですみ効果がある。現在、県内35市町村中18市町村で助成を実施しているが、東毛地区や近隣市町村では実施して



▲役場職員も立哨活動で交通安全啓発

いない。本町では財政状況を勘案し周辺市町の動向を見ながら検討したい。

問・3つの質問についてを総括し町長に伺いたい。

答・町長 交通事故関係については警察とも地道に連携を取り合っている。適切な指導も学校間で教育委員会を通し緊急にやるべき所は実行していきたい。また保育園、児童館の飛散防止フィルムはできれば、小学校、中学校もと考えているが、できるものから着手していきたい。成人用肺炎球菌ワクチンの助成については邑楽郡内の動向をみて、前向きに検討したいと思っているが、少し時間をいただきたい。

一般質問

議会 2日目
6月7日(木)

③青木 秀夫 議員

議会不要(用)論という風評払拭には 執行部の親切・丁寧な対応が不可欠では



監査する重要な役割を担っていることも制度化されているし、私どももそう理解している。

議会と執行部の両立について

問・議会の執行機関への監視機能と車の両輪の如き機能、この相対立する関係にある二つの機能を両立させることは議院内閣制でない地方行政と地方議会の関係では難しいと思う。うまく機能させる方法はあるのか。

答・町長 議会と執行部の関係は二元代表制であることからも、車の両輪という考え方でなく今は全国的にもアクセルとブレーキという見解になってきている。アクセルとブレーキとは、チェックしながら

答・総務課長 議会は町民の代表としてさまざまな問題について議論し、重要な方針・条例・予算などを議決すると同時に、執行機関の行政運営、事務処理、業務の適正かつ効率的に行われているかを

問・国と違って三権分立・議院内閣制でない地方行政と地方議会の関係において、執行機関は議会の存在目的・役割を、どのように理解し、位置づけているのか伺いたい。

足りないものは後押しし、過ぎたるものは止めるという関係にあると思っている。そういう意味で二元代表制は機能していると思っている。

執行部の協力をなくして議会活性化は不可能

問・執行機関と議会は、「売り手と買い手」、「経営者と労働組合」のように利害が絶対的対立する関係にない筈である。住民福祉向上という共通の目的のために協調できる部分が多くある筈である。議会が執行機関の「同意・追認機関」とならず議会の本来の役割を果たすためには、「よらしむべし・知らしむべからず」的行政手法から役場入所時の初心

答・町長 民間から入った特別職としては、初期の公僕たる立場が時の流れとともに失われているのを痛切に感じている。私自身も感じたものを強く職員に知らしめ、教育し、指導しているつもりである。今、いろいろな指摘に対して反省すべきところがあれば、それを踏まえて充実した執行部となるよう頑張りたい。

に戻ったサービス、対応が不可欠となっていると思うが。

答・町長 民間から入った特別職としては、初期の公僕たる立場が時の流れとともに失われているのを痛切に感じている。私自身も感じたものを強く職員に知らしめ、教育し、指導しているつもりである。今、いろいろな指摘に対して反省すべきところがあれば、それを踏まえて充実した執行部となるよう頑張りたい。

問・板倉町の財政は厳しいという前町長の時代からの訴え、宣伝は果たして事実なのだろうか。ありのままの事実を知らせないと、かえって誤解、混乱させる結果にもなる。主権在民、住民主役の行政が法的に制度化されている今日、「よらしむべし、知らしむべからず」的行政から庁舎建て替えも可能であるとの財政実態など、ありのままの情報を知らせる必要があるのでは

ありのままの情報開示を

問・板倉町の財政は厳しいという前町長の時代からの訴え、宣伝は果たして事実なのだろうか。ありのままの事実を知らせないと、かえって誤解、混乱させる結果にもなる。主権在民、住民主役の行政が法的に制度化されている今日、「よらしむべし、知らしむべからず」的行政から庁舎建て替えも可能であるとの財政実態など、ありのままの情報を知らせる必要があるのでは

はないか。
答・町長 就任以来、求められる前に必要と思う資料は積極的に開示・提供するよう努めてきた。「よらしむべし・知らしむべからず」という言葉は嫌いだ。この4年間で変わってきていると実感しているが、まだ足りない面があるだろうとは思っている。職員も「知らしむべからず」というような気持ちは多分もっていないと思うが、請求がなければわかっていない、わかっているだろうみたいな考え方で多少の食い違いもあるとは思っている。庁舎の建て替えくらいはできるし、実行するつもりである。



▲議会の存在・役割について議論白熱

一般質問

日 目 2
月 7
年 6

④ 荒井 英世 議員

渡良瀬遊水地の利活用と地域振興 遊休農地の解消と利用集積の推進



ラムサール条約登録を
見据えて

問・ラムサール条約湿地登録を見据えての渡良瀬遊水地の利活用、地域振興についてどのように考えているのか。

答・企画財政課長 現状では具体的にどんなものを取り組むかというのは明確になっていない。ただ、登録を受けて関係する4市2町の連絡会議的なものを設置し、ワイズユース※・保全などに取り組んでいく必要があるというところで会合を過去一度

持っている。近く会議が開かれる予定であるので、いろいろな提案が出るものと思っている。

問・観光面では渡良瀬遊水地の特性を活かした地域振興が、また、農業面でも遊水地のイメージを使って農産物のブランド化、商品化などが必要と思うが、お聞きしたい。



答・産業振興課長 どのような形で観光面に受け入れていくのか明確に体制が取れない部分もあるが、遊水地を中心に町内へ誘導するモデルケースを検討したい。農業面については、ブランド米・特産品ということで、例えば

低農薬など、そんな取り組みを検討していきたい。またエコツアーや観光農園など、広く町外の人々が利用できる農業や工コに親しむような場も検討していきたい。

東武鉄道との連携について

問・ラムサール条約湿地登録、東洋大の一学部新設、ヤマダ電機の進出など好条件がそろってきた状況を踏まえ、東武鉄道との連携をどのように進めていくのか、お聞きしたい。

答・町長 陳情活動は今より強く進む。行動を起こさないことには物事も達成しないという原理原則論からいえば積極的に展開するということ、条件は良くなってきている。

ただ、私は楽観的にはみていない。

板倉工業団地西側の耕作放棄地の解消と集積について

問・国においては、新規事業として「人・農地プラン」にあるように、地域農業の将来にわたる問題解決に取り組み始めた。こうした中、耕作放棄地の解消と面的集積を図るため、板倉工業団地西側をモデル事業として実施したが、その評価は。

答・産業振興課長 町内では基本的に小さい区画がほとんどでしかもばらばらであり、これを集積するには相談をし、かなり準備が必要という現状であるが、今回特に地元の農業委員さんに積極的に動いていただいたため、地元の認定農業者にも農地の耕作がお願いできた。耕地として大きくまとまった部分も出てきているので、非常に有効なものであると思う。今後もこういう形で地元対策がとれば、積極的に活用していきたい。

問・「人・農地プラン」は、今後予算措置も含めてどのように取り組んでいくのか。

答・産業振興課長 この考えと一緒にやっていきたいという方を取り込んで計画を作成していきたい。全国的にこの事業が動き出すと、予算が厳しくなると思うが、できる限りこのプランに入れて対応していきたい。

問・「人・農地プラン」の具体的な手法であるが、審議・決定、プラン作成のための検討会を想定しているのか。

答・産業振興課長 農業委員さんを中心にプランの検討委員会を作っていくべきであると考えている。

新規就農者支援対策は

問・町独自の支援制度を検討していく考えはあるのか。

答・産業振興課長 近隣の状況を調査し、実態も確認した上で検討したい。

(※)「ワイズユース」とは、湿地を保護しながら持続可能な方法で利用すること。

一般質問

日 2月
月 7日(木)
議会

⑤ 今村 好市 議員

ヤマダ電機の進出、企業・商業施設の誘致は
重要文化的景観「水塚・柳山」の保全は



板倉ニュータウンに
ヤマダ電機進出

問・板倉ニュータウンにヤマダ電機の進出が決まったことについて、町長のまちづくりに対する所感を伺いたい。

答・町長 町職員や企業局だけでなく、ヤマダ電機という業界の中で売り子が増え、今までより積極的な住宅販売ができると思う。問・ヤマダ電機が進出を決定するに至るまでに、町や町長はどのような誘致活動を積極的にやってきたのか。



▲住宅地販売へ(株)ヤマダ電機進出

問・民間の活力による最先端の住宅を整備してまちづくりを進めるため、ヤマダ電機、県、町が協力して進めるべきと思うが。

答・町長 今回については、私個人としてヤマダ電機にPR活動を展開したということもなく、ヤマダ電機が今後の事業展開を考えた上で、板倉町が最適地と判断され企業局に話しが持ち込まれ進出が決まった。

答・町長 いろいろな機会を見つけて意見交換し、町の申すべきことはしっかりと申し上げ協議しながら進めたい。

企業・商業施設の誘致は

問・今年度の企業・商業施設の誘致活動方針は。

答・町長 近場の企業に対し積極的に誘致活動を行っていききたい。

問・現在、誘致活動を進める中で何社ぐらいの引き合い、または交渉しているのか。

答・産業振興課長 現在、企業・商業施設の引き合いは、それぞれ数社の引き合いがあり、交渉というような形で行っている。

問・誘致企業2社の操業・雇用・税収の見込みは。

答・産業振興課長 (株)ミルツクスは、3月に操業しており、新たな雇用はない。イトアンド(株)は、9月操業に向けて現在建設中。雇用はパート・アルバイトで60〜100名を予定している。雇用説明会に108名が参加し、町内の方が87名、町外の方が21名であった。地元からの雇用を優先に考えていた。税収は、土地の固定資産税が2社で300万円。そのほか、家屋の固定資産税・法人町民税等が考えられる。

水塚・柳山の保全は

問・3月定例議会で、柳山の調査を国の補助金で実施するという説明があった。どういう目的で、どこが実施主体で行うのか。

答・教育委員会事務局長 この調査の目的は、柳山が少しずつ荒れてきている状況であり、整備活用のための植生調査を147万円の補助金のなかで「水塚の風景を守る会」が事業主体で行う。



▲後世に伝えるため水塚の保全が重要

問・重要文化的景観の認定を受けて水塚の保全(修復)に対して、国、県が補助金を出すということになれば、今までの文化財保護の保全実施例からしても、町も相応の補助金を出して保全すべきと考えますが、その対応は。

答・教育委員会事務局長 水塚の保全(修復)については、国・県・町の補助金で対応して行きたいと考えている。今回は町の厳しい財政事情があることから、修復することは難しいことになった。これから実際に金額がいくらになるか正式な形で上がってくるようであれば、再度検討しなくてはと考えている。

議 会 日 誌

◆5月

- 8～9日 県議長会臨時総会及び
議長議長・事務局長研修会
- 11日 小中学校PTA連合会定期総会
- 12日 板倉町体育協会総会
- 13日 千代田町町制施行30周年記念式典
- 15日 館林邑楽地域市町村懇談会
- 18日 議会改革(作業部会)／議員協議会(5月)
- 23日 板倉町商工会総代会／野菜出荷組合連絡協議会総会
- 25日 板倉町社会福祉協議会評議員会
- 26日 板倉町国際交流協会総会
- 29～30日 全国議長会主催議長・副議長研修会
- 31日 議会運営委員会／議会改革特別委員会

◆6月

- 1日 板倉町総合農業振興協議会総会
- 6～14日 6月定例会(本会議、一般質問、各常任委員会、
所管事務調査)、議員協議会、議会広報特別委員会
- 15日 館林地区暴力団追放推進協議会役員会定期総会
- 16日 東毛経済クラブ定期総会
- 17日 スポーツフェスティバル
- 18日 板倉まつり運営委員会
- 24日 第2回板倉町避難訓練
- 25日 邑楽館林地域施策推進協議会
- 27日 水防協議会

◆7月

- 1日 板倉消防団ポンプ操法競技大会
- 3日 邑楽館林主要河川改修促進同盟会総会
- 7～8日 板倉町消防団正副分団長視察研修会
- 9日 議会広報特別委員会／議会改革(作業部会)
- 11日 (株)タイガーカワシマ新本社工場竣工式
- 23日 議員協議会(7月)
- 24日 (株)コメリとの災害協定調印式
- 25日 庁舎建設基本計画検討委員会

子どもの頃の夏の思い出

議長 野中嘉之



議長室エッセイ

私の子どもの頃といえば、昭和28年が10歳でした。この頃は、もちろんプールがあるわけでもなく、水遊びといえば、除川神社前にあった沼、そして近くを流れている渡良瀬川でした。泳ぐ場所は、ほぼ決まってきましたから、そこに行くと、大勢の子ども達が好き勝手に遊んでいた。特に大人の監視員がいるわけでもなく、子ども達が自由に遊んだ。川の水は、底が見えるほど澄んでいた。流れもあり、向こう岸に泳いでたどり着くには容易ではなかった。上級生で、泳ぎの上手な子ども達は、対岸で誇らしげであった。何としても、対岸に泳いでいきたいと何度も挑戦した。しかし足はけいれんし動かない。水は飲んでしまう。そして、流れが速く深みにはまり、溺れそうになることも、まさに命がけでした。でも何十回となく果敢にチャレンジし、ようやく対岸に到達したときの喜びは、今でも忘れない。今思うと、川で遊んだ様々な体験や挑戦から「生きる力」が身についたと思う。そしてこのことが、今の自分の原動力になっているのかも…。

◆議会改革へ向けて議会アンケート実施!



先月7月中、行政区を通して全世帯対象に、議会改革へ向けてのアンケート調査を実施しました。このアンケート

調査を実施することによって、町民の皆様の議会に対する意向や意見・要望を伺い、今後の具体的な議会の改革方策を議論していきたいと考えています。
より町民にわかりやすく開かれた議会づくりをめざし、住民の皆様の要請や期待に応えられる議会に向けて改革を進めていきます。
なお、アンケート調査結果

については、次回議会、たよりで報告を予定しています。
▼議会改革の目的について
①町民の信頼に応える責任ある活動により板倉町のまちづくりを推進し、町民福祉の向上に寄与する
②議会の役割は、町民の代表としての意思決定機関であり、議決の責任を負うことと行政活動の監視及び政策

の立案を行う
③議会と町民の関係強化により議会を活性化し、町民が幸せに暮らすことのできるまちづくりを推進する
議会改革は、①情報公開、②議会機能の強化、③住民参加の3つの目的を柱に積極的
に取り組んでいます。板倉町議会独自でだれにでも分かりやすい町民から信頼される議会改革を目指します。

回収率87%、ご協力に感謝

地区	世帯	回収数	回収率(%)
北	792	713	90.0
東	1,286	998	77.6
南	706	629	89.1
西	1,654	1,519	91.8
合計	4,438	3,859	87.0

行

政区避難訓練に参加して

情報伝達は広く・早くと確に

大字除川 野中洋行さん



午前9時過ぎ、「避難勧告」の伝達がありました。早速徒歩にて、避難場所「北部公民館」に向かったところ、すで

に20から30人の地域の方が来られていました。

地震・雷・火事・水難等、自然的・人為的災害（災害）

は、神代の昔から、いとまごいをしたいものであったのではと思います。されど、昨今のご時勢は情報化の世なのだから、せめて予知・予報・予防にて回避できたりすれば、

安堵に胸をなで下ろす事が可能ではと思われます。そこで、災害等が予見・兆候されたり、

それらの事象進行が確認された時点で、警戒警報・避難情報伝達を早急にお願いたく、屋外拡声器の設置が望まれます。併せて、定時放送・防犯等の放送も実施されてもよいのではと思ひます。

キ

ユウリを育て、板倉町でがんばる！

くだれも知らない土地で新規就農く 大字板倉 島田征史さん



初めまして。島田征史と申します。この度、この板倉町でお世話になることになりました。

今年の3月30日、キュウリ栽培の盛んなこの地で、私達もがんばってみようと意を決し、転居してまいりました。

栽培の経験があるとはいえ、気候も土地柄も違う所では戸惑うことばかりでしたが、今こうして立派に実ったキュウリを見る事ができるのは、すべて見ず知らずの私達に親

身になってご尽力くださった皆様方のお陰と、心から感謝しております。この場を借りてお礼申し上げます。

若輩者の私達ですが、これからも一生懸命、キュウリを育て、この板倉町にしっかりと根を生やしていきたいと思ひます。どうぞこれからもよろしくお願ひいたします。

『傍聴して町政を知る』

だれでも簡単にできます “議会傍聴”



議会の本会議は公開制となっています。本会議当日、受付簿に記入していただくだけで、どなたでも自由に傍聴することができます。今度の定例会は9月5日(水)からを予定しています。

議会傍聴についてのお問い合わせは、役場議会事務局下記までお気軽にお電話ください。

問合せ ☎ 82-1111 内線 511

編集後記

「生ビール」が美味しい季節になりました。この時期、気になるのは、体調管理と体重管理ではないでしょうか。最近、「スロトレ」（スロートレーニング）という言葉が耳にするようになりました。これはゆっくりとした動作で筋肉に負荷をかけるトレーニング法の一つで、基礎代謝率を上げ、体脂肪の燃焼に非常に効果的で引き締まった身体を造るのに適しているとされています。

一日に使う消費エネルギーの比率は基礎代謝65%、運動代謝25%、食物代謝10%と言われています。基礎代謝が上がるように、運動したり、筋トレしたり、食事の量を減らしたりして、体重と体脂肪が減らせればよいのですが、毎日の食事が楽しみなので、なかなか取り組めません。いずれ「スロトレ」に取り組みたいと思ひます。

（議会広報特別委員 川野辺達也記）

